

木葉小便り

令和5年12月5日(火)発行
文責 校長 吉野 新吾



イチョウのじゅうたんで遊ぶ

すばらしい集会になりました

“木葉っ子の仲間づくり”を目指した「ともだち集会」(11月28日)を開きました。本年度は、主体性の育成のため、「自分たちに何ができるか!」をテーマに児童会を中心に、新しい取組にチャレンジしました。全校児童1人1人に活動の場があるすばらしい集会になりました。



人権評語の紹介



人権ポスターの紹介



縦割り班でのクロスロード



人権絵本の読み聞かせ



心が元気になる言葉集の紹介

最後に、みんなで11月の歌「おひさまになって」を合唱しました。左斜め下に歌詞の一部を示しました。「北風と太陽」というお話はご存じですか?

ダメなことはダメと厳しく指導

旅の男の上着 脱がせたのは
強い北風ではなく 柔らかな日ざし
おひさまになって おひさまになって
温かい心で ♪~
おひさまになって おひさまになって
照らしたい ♪~

することも必要です。しかし、集会で確認した“温かい心”で接することを通じて、気づかされながら自分で判断できる大人に育ってほしいとも思っています。

「玉東町教育の日」の姿に続き、「何か 木葉小って すごいな!」と感じた「ともだち集会」でした。

登校班を考えよう



◎教員の働き方改革(時代に合わせた対応に)

登校班トラブルにエネルギーを奪われる職員

? 地域で決めていただいた登校班⇔トラブル対応は学校に

? 登校班は必要ですか?

《10月役員会資料》

地域の登校班でのトラブル状況を地域で共有していますか?

登校班の在り方について、PTA 役員会で話題にしています。朝の時間、休み時間、昼休み、放課後に、職員は子供から話を聞いたり、集めて話をしたり、家庭に電話をしたりと多くのエネルギーを費やしている現実があります。「ずっとこれでやってきたから」ではなく、今この機会に「安全に安心して登下校できる方法」をみんなで協議する必要があると感じています。